

子どもエコ大使育成プロジェクト活動報告

代表：環境デザイン学科4回生 清水凜

本プロジェクトは、座学だけでなく楽しく環境について学べる場の提供によって、環境への興味関心を高めるきっかけづくりを行うことを目的に、2023年度に活動を開始しました。本年度は社会共創学部 準正課プロジェクトとして活動の支援を受け、社会共創学部の1~4年生7名と李准教授で2025年10月~11月にわたって実施しました。子どもたちが地域の諸課題に対して積極的にアプローチしていくことや地域全体で環境やエコに対する意識が向上されることを目標とし、郷土や自然を愛する「エコ大使」として地域をリードしていく子どもたちの育成を目指しました。

01

伊予市立下灘小学校にて 全3回の授業を実施

〈実施テーマ〉

- 第1回 「フィールドビンゴで地域の自然を知ろう！」
- 第2回 「ゴミとしぜんでスタンプアート！」
- 第3回 「みんなでえがこう！まちの未来」

下灘小学校の3~6学年の児童を対象に全3回の活動を行い、下灘の自然や地域の良さについて考えるきっかけの提供を行うことを目指しました。

全体として、授業の理解度や関心度に関する評価は比較的高い結果となりました。活動を複数回に分けて実施することで、児童の関心がより深まったと考えられます。

知識と具体的な体験が繋がり、学習を通じて「エコ大使」として必要な知識と意欲が身につきました。

02

ごごしまキッズスクールにて 3回の活動を実施

〈実施テーマ〉

- 第1回 シーグラスを使ってフレーム制作
- 第2回~3回 興居島の海の保全ポスター制作

ごごしまキッズスクールに参加する児童を対象とした全3回の活動を行い、興居島の海や自然のよさを学ぶきっかけづくりを行いました。

第1回の活動では興居島の自然について考えるワークや、シーグラスや海洋プラスチックを使ってフォトフレームを装飾する活動を行いました。

第2回~3回では、興居島の島の自然のよさを残すためには、島外からの海洋ゴミを減らす必要があるという点に着目し、来島者向けのポスターをみんなで一枚制作しました。



下灘小学校児童の感想

私は自然にあまり興味はなかったけどこの三回で自然のことを学べました。まず、下灘には色々な動植物があることを知りました。生物多様性という言葉を知りました。色々な生き物がいないと生きていけないと知りました。これからは自然を大切にしていきたいと思います。(第3回の感想より抜粋)



班ごとに案を出し合って作成したまちの未来図

ごごしまキッズスクール代表高橋さんよりコメント

興居島の子どもたちのために担当学生が真剣にアイデアを考え、自分たちの行動で海が守れるということを考えさせてくださいました。多くの人に呼びかけたいという思いを引き出し、子どもたちの意識は大きく高まりました。毎回訪問を心待ちにする姿が印象的で、問題意識から課題解決へと至る思考の道筋も非常に適切でした。

